



植物（ジニア）による土壌浄化に関する共同研究を開始しました！ ～環境技術産学公民連携共同研究事業～

川崎市では、多様化、複雑化する環境課題に対応するため、企業、大学、研究機関等と連携した共同研究事業（環境技術産学公民連携共同研究事業）に取り組んでおり、この度、学校法人明治大学と覚書を締結し、新たに共同研究を開始しましたのでお知らせします。

土壌に油が混じることは、河川への油流出事故のリスクになるなど、生活環境保全上の懸念が生じるものの、土壌の入れ替えには多くのコストがかかるため、対応に苦慮することも少なくありません。植物による土壌浄化は、植生により景観が良くなるとともに、比較的成本が低いため、長期的な土壌浄化手法の一つとして期待されています。

本共同研究により、園芸用として身近なジニア（百日草）による油の分解・浄化効果を明らかにすることで、土壌浄化の対応策のひとつとして広く展開されることを期待し、本共同研究を推進していきます。

1 共同研究事業名

「鉍物油含有土壌におけるジニアによる植物浄化に関する研究」

2 研究概要

油が混じった土壌におけるジニア生育に伴う根圏微生物の増殖・活性化及びこれによる油の分解・浄化効果を検証するため、概ね2年間にわたり実証実験を行います。

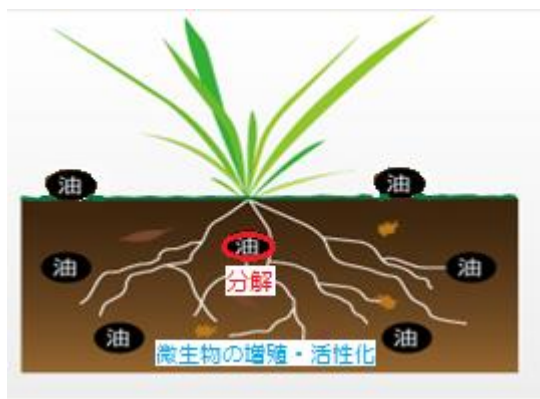


図1. 鉍物油含有土壌における植物浄化のイメージ



図2. 今回の共同研究で用いるジニア